



平成30年度 自己点検・評価

令和元年7月10日

# コンセプト

## ”仕掛ける人に、なれ”

時代を創り、  
新しい価値を生み出していく人材＝”VISION MAKER”  
を育成することを目的として教育を行なっています。

\*MIICAで育む5つの力

### 01 目標を立てる力

将来なりたい自分をかなえるために、今の自分が達成すべき目標を適切に立てる力

### 02 自分自身を知る力

いろいろな人との人間関係の中で、自分の実力や価値観などを客観的に見る力

### 03 価値を生み出す力

まわりの人たちと協力しながら知識や経験を組み合わせて、新たな価値を生み出す力

### 04 恐れず挑戦する力

目標達成のために何をすべきか自分で考え、失敗を恐れずにトライアル&エラーする力

### 05 自ら知識を得る力

トライアル&エラーする中で見えてきた、自分に足りない知識を自ら積極的に獲得する力

## <教育の目標と重点>

- ・平成30年度の重点目標

### 目標① 講演やワークショップの実施

多様な価値観に触れインスピレーションを得る機会を創出

- ・写真家半沢克夫 写真講義
- ・COINJINJYA ブロックチェーン特別講義
- ・三菱UFJ銀行 金融講義
- ・宣伝会議眞鍋海里 動画編集講義
- ・税理士大河内薫、漫画家若林杏樹 税金&イラストレーター特別講義

### 目標② 創作活動の活性化

創作を促すようにコンテストや部活への参加を活発に

#### ◎コンテスト

- ・「Adobe」主催「Make It! Student Creative Day」に出場  
ゲスト審査員映画監督山戸結希による『審査員特別賞』を受賞
- ・「宣伝会議」ブレーン主催のBrain Online Video Award (BOVA) に出品

#### ◎部活動

- ・企画プロデュース部 (MIICA CREATIVE CLUB)
- ・軽音部(MIICA MUSIC MONSTER)
- ・演劇部(MIICA THEATER COMPANY)
- ・イラスト部(MIICA ART ATELIER)
- ・ダンス部(MIICA DANCE CREW)
- ・本部(MIICA BOOK LOVERS)

### 目標③ 芸術的感性の高揚

芸術鑑賞及び図書の実践

- ・1年大相撲観戦
- ・2年劇団四季「アラジン」鑑賞
- ・全学年ダイハツ「キュリオス」鑑賞
- ・Adobe MAX Japan 2018 参加

## <教育課程>

### ・カリキュラムの特色化と適切性

変わり続ける世界の中で、いま必要とされるのは「大学受験のためだけの勉強」ではなく「変わり続ける世の中に対応しうるチカラ」をもつことである。

本校では、知識偏重型の教育を廃し、新しい時代の教育ニーズに応えるべく、自己表現し自ら未来を切り拓いていく人材となるべきカリキュラムを独自に設定している。

具体的には、自分の考えを他者に対して表現する「ヒューマン・コミュニケーション学」や、自分の考えた企画の実現やマネジメント、総合プロデュース力を培う「企画立案・プロデュース学」、デジタルな情報発信スキル/リテラシーを培う「デジタル情報発信学」など、“クリエイティブ”に生き、自分自身を最大限に表現していくためのスキルを身につける授業科目がある。

他にも、学校法人 日本芸術学園の40年にわたる芸術・芸能教育の強みを生かし、芸術表現（演技/音楽/ダンス/ビジュアル・アーツ/伝統芸能）を多岐にわたり学習している。また、その根幹にある“教養”を、リベラル・アーツや実用英語、メディアエンターテインメント学により学ぶ。

本校のカリキュラムの特色は、クリエイティブ人材を輩出するためのカリキュラムに特化させていることにある。

### ・教育システム全体の工夫と充実度

1年間のカリキュラムを5クールに分け、生徒の習熟度を測りながら柔軟に設定している。都度、学校行事活動や外部講師の講演などを取り入れ、社会と関わる流動的な機会を、定期的に確保している。

## <教育環境>

- ・校舎改修工事の・生徒用 wi-fi環境の増設
- ・エアコン室外機の補強、台風対策
- ・生徒用図書の充実

## <教科指導>

- ・指導計画

MIICAのカリキュラム自体は、博報堂プロダクツの協力のもと設計・ブランディングを行い、実施している。カリキュラム以外の部分における生徒への指導についても、MIICAのコンセプトに沿って”考える機会を設け、教員も共に考えること”を主軸に置いている。

- ・成績評価および授業評価

### ◎成績評価

成績評価を細分化し、平常点を「MIICAで育む5つの力」に基づき数値化している。

### ◎授業評価

現場経験のある講師を採用し、”実践”に重きを置いて指導を行っている。

今後は、教科を一層ハイブリッド化し、教科間での連携を強めていく。

### <生徒の活動>

- 生徒の活動

生徒は、授業での活動のほか、放課後に部活動や各種コンテストに参加するなど積極的に表現活動を行っている。

今後はさらに表現活動が促進するように、教員側からもさまざまなアプローチを続けていく。

### <進路指導>

- 進路相談の充実

1年次 カリキュラムによる学習の充実

2年次 社会との関わりを活発に持ち、ビジョンを明確化する

3年次 進路を実際的に考え、行動を起こす

在校生には進路希望調査を取り、一人ひとりの希望を確認。

その後個別面談を行い、希望進路を実現するための方向づけをしていくことができた。

### <安全および危機管理>

- 避難訓練の実施

### <令和元年度 重点目標>

- 初卒業生への進路指導徹底
- 屋上防水工事による安全対策
- 生徒による創作活動の活性化
- カリキュラムの充実